

50周年記念

昭和46年(1971)～令和3年(2021)



大崎地域広域行政事務組合

記念事業のコンセプト

記事や写真などの情報収集や構成などに至るまで「職員の手作りによる記念事業」をコンセプトとしております。

横断幕の設置状況

「組合設立50周年の記念横断幕」



横断幕の設置作業



横断幕の設置完了

表紙について

水田の中に浮かぶ森の様な屋敷林「居久根」の景観と大崎耕土の
田園風景を、世界農業遺産のイメージとして掲載しております。

目次

ごあいさつ	1
管理 者	
組合議会議長	
構成市町紹介	
第一章 組合概要	
第二章 あゆみ	3
第三章 記憶と伝承	6
第四章 記念式典	13
第五章 未来へ	32
資料 編	45
記念事業推進体制	50
資料 編	52
記念事業推進体制	57
出典・賛辞・協賛団体	58



発刊のことば

大崎地域広域行政事務組合は、設立50周年という節目の年を迎えることができました。これもひとえに地域の皆様をはじめとする国・県、構成1市4町皆様の広域行政に対する深いご理解とご協力の賜物であると衷心より感謝を申し上げます。

さて当組合は、昭和46年8月2日に大崎広域市町村圏の振興整備に関する計画の策定及び事業実施の総合調整に関するを行うために設立され、その後、昭和48年に大崎地区消防事務組合、大崎地区伝染病院組合、大崎地区及び遠田地区視聴覚教育協議会を統合し、さらに粗大ごみ処理場の操業を開始いたしました。

昭和53年には大崎圏域での障害児の療育拠点として大崎広域ほなみ園を開園し、平成10年には広域圏活性化プロジェクト中核施設として大崎生涯学習センターを開館し視聴覚教材センターを統合いたしました。

そして平成17年に大崎圏域内の3つの一部事務組合が統合となり一般廃棄物の処理に関する事務及び斎場の管理運営を共同処理事務に加え、組合設立以来、半世紀にわたって、その時々の社会情勢の変化や課題、また、多様化するニーズに対して的確な共同処理事務を担うため、常に組織の強化と充実に努め発展してまいりました。

今日、我が国を取り巻く環境は、想定をはるかに超えるような様々な自然災害が発生し、甚大な被害をもたらしており、人々のくらしのなかで安全・安心は欠かすことのできない重要な要素となっております。さらに新型コロナウイルス感染症の影響により、人々の生活様式や社会の在り方が大きく転換する、激しい変革の中にあります。多様で複雑化する課題に直面しながらも圏域住民の皆様が豊かな生活を送ることのできる持続可能な社会の形成のため、当組合の「輝く大地ひろがる笑顔の大崎広域圏」のキャッチフレーズのもと、構成1市4町の持つ優れた文化や恵まれた自然という地域資源を活かし、一人ひとりの笑顔が結び合えるよう、広域的な連携を通じ、地域活性化、まちづくり、また、地域の防災拠点としての役割を目指し、それぞれの共同処理事務に全力を傾注してまいります。

今後とも当組合に対する皆様方の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

50年の節目にあたり、先人の築きあげてきたこれまでの歩みを振り返り一つの区切り、そして記録として後世に残していくため記念誌を発刊いたしました。

記念誌は、本来であれば記念式典において皆様にお渡しする予定でしたが、県内における新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ご参加いただく皆様の健康と安全を第一に考え、誠に残念ではありますが、式典開催ではなく情報発信という形に改めさせていただきましたことといたします。

最後に、この組合設立50周年が契機となり圏域住民の皆様が大崎地域の広域行政に対する理解をさらに深めていただきますことをご祈念申し上げ、組合設立50周年記念のあいさつとさせていただきます。



大崎地域広域行政事務組合管理者
大崎市長 伊藤 康志

発刊を祝して

このたび、大崎地域広域行政事務組合が設立50周年を迎えることに、心からお祝いを申し上げます。

世界農業遺産に認定された大崎地域は、荒雄岳を源とする江合川と船形連峰を源とする鳴瀬川の2つの大きな川が流れ、その流域に広がる水田農業地帯は、緑豊かな豊じょうの大地「大崎耕土」を形成しております。また、東北自動車道や東北新幹線などの幹線交通網が、縦横に通る交通アクセスに優れた地域となっており、県北の要衝地域でもあります。

交通・通勤手段の発達に伴い個々の市町を越えた広域的な生活圏が形成され、住民の日常生活や経済活動の範囲が拡大したことにより、大崎地域を一体とした広域的な行政事務を共同処理する必要性が高まり、昭和46年、地方自治法に基づく一部事務組合として大崎地域広域行政事務組合が設立されました。

昨今、地方自治を取り巻く環境は、社会経済情勢の変化とともに大きく様変わりしています。消防、衛生、教育、民生の各分野において、事業を展開する組合が果たす役割は、近年ますます重要性を帯びてきており、圏域住民皆様の寄せる期待も年々高まっているものと実感しております。

自然環境などの変化により、災害事象は複雑多様化しており、特に自然災害は、我々の想定をはるかに超える甚大な被害をもたらしております。東日本大震災や台風などの災害においては、市町と連携して被害を最小限にとどめるなど、いち早い復旧、復興に寄与されたことに感謝するとともに、今後も迅速かつ的確な災害対応にご尽力されますよう切望いたします。

また、国連が掲げるSDGsの考え方を活用した施策の推進が行政に求められている中で、一般廃棄物処理施設を有する組合といたしましては、とりわけ一般廃棄物の発生を大幅に削減する施策の方向性について、住民・事業者・行政が三位一体となり、総合的かつ効果的に推進する上で、組合がけん引役となることを期待しております。

職員の皆様におかれましては、日夜職務に精励され、献身的にご尽力いただいておりますことに、改めて心から敬意を表する次第であります。50年にわたる歳月の中で培ってきた経験と技術力を、今後におきましても発揮していただき、引き続き圏域住民皆様の安心と安全の確保に取り組んでいただきますようお願いいたします。

組合議会といたしましても、先人が積み重ねてきた歴史を大切にし、未来にそのバトンを繋げるべく、執行機関と十分な意思疎通を図りながら、課題解決に向けて誠心誠意取組み、圏域住民皆様の期待と信頼に応えてまいりたいと存じます。

結びにあたり、本記念誌作成にご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、構成市町及び組合のますますの発展と圏域住民皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げまして、お祝いの言葉に代えさせていただきます。



大崎地域広域行政事務組合議会
議長 相澤 孝弘

【構成市町紹介】

大崎市 ~ Osaki City

◆産業・経済

基幹産業である農業を中心として、林業、商業、工業、サービス業、観光業が調和した、バランスのとれた産業構造をもっています。

◆観光・文化

温泉番付東の横綱「鳴子温泉郷」をはじめ、ラムサール条約湿地の「化女沼」、「蕪栗沼・周辺水田」、パークゴルフやキャンプなどのアウトドアレジャー、地酒やお菓子などの食、特徴を持った展示施設やお祭りなど、様々な観光客のニーズにお応えできます。

◆伝統行事・伝統芸能

「鹿島台瓦市」や「岩出山瓦市」、「古川八百屋市」などの伝統行事のほか、伝統芸能として「金津流松山獅子踊」や「若宮八幡神社湯花行事」、「鬼首神楽」や「春藤流謡曲」、「岩出山大蔵流謡曲」などが現在も継承されています。

◆郷土自慢

春は桜の花霞、夏はひまわりが咲き誇り、秋は紅葉で山粧う。そして冬は一面の銀世界。大崎市は四季が織り成す、あざやかな色彩にあふれています。

(参照 市町村概要みやぎ)



大崎市長 伊藤 康志
(管理者)

市章

**色麻町 ~ Shikama Town**

◆産業・経済

農業を基幹産業として米、畜産、野菜等があり、圃場整備に伴う農業基盤の整備と大型機械導入による集団組合が組織され、経済の安定化が図られ、余剰労力は、第2次、第3次産業に移行しています。

◆観光・文化

県立自然公園船形連峰の登山コースが設備され、大滝野営場、鈴沼があります。国指定史跡「日の出山瓦窯跡群」、県指定文化財「円光大師像」、愛宕山には農業伝習館、全面人工芝の多目的グランドがあります。

◆伝統行事・伝統芸能

伊達神社の御稚膳構（5月1日）と旧暦6月15日磯良神社のお河童さま、8月上旬の「かっぱのふるさと祭り」、河童太鼓、出羽神社の獅子舞等があります。

◆郷土自慢

健康増進と保養目的の公衆浴場「かっぱの湯」、隣接の地場产品直売施設「穀菜センター」も連日大盛況です。味彩館「ふるさと」では町内産の農畜産物を食材とした食事が提供され、特にエゴマ豚は大好評です。



色麻町長 早坂 利悦
(副管理者)

町章



(参照 市町村概要みやぎ)

加美町 ~ Kami Town

◆産業・経済

稻作と畜産との複合経営などの農業を基幹産業とし、地域資源や伝統技術に根差した地場産業の振興やインター・チェンジへの近隣性を活かした工業の導入、地域商業の振興などを積極的に進めています。

◆観光・文化

バッハホール、パークゴルフ場、やくらい薬師の湯、やくらいうォーターパーク、林泉館、都邑館、ぶな林、土産センター、山の幸センター、滝庭の園「駒庄」、荒沢自然館、陶芸の里ゆ～らんど、ふるさと陶芸館、陶芸の里スポーツ公園、ボルダリング施設など

◆伝統行事・伝統芸能

火伏せの虎舞、小野田の田植え踊、薬菜神社三輪流神楽、柳沢の焼け八幡、小泉の水祝儀、切込の裸カセドリ

◆郷土自慢

県立自然公園船形連峰をはじめとする豊かな自然に恵まれ、大自然をフィールドとした多彩なレクリエーションやレジャーが楽しめる地域となっています。

(参照 市町村概要みやぎ)



加美町長 猪股 洋文
(副管理者)

町章



涌谷町 ~ Wakuya Town

◆産業・経済

古くから良質米の産地で、現在は小ネギ、ほうれん草などのハウス園芸野菜にも力を入れています。バイパス沿道へ商業施設や工場を誘致し、農商工一体の発展を図っています。

◆観光・文化

国指定史跡「黄金山産金遺跡」があり、産金と万葉の歴史を立体的に体験できる天平ろまん館を整備しています。涌谷伊達家代々の居城で桜の名所である城山公園は、毎年桜まつりで賑わいます。中央部の笠岳山にはゴルフ場があり、町民医療福祉の充実と地域活性化のために建設した日帰り温泉施設「わくや天平の湯」なども整備しています。

◆伝統行事・伝統芸能

笠岳白山祭、桜まつり、東北輶馬競技大会

◆郷土自慢

奈良時代に我が国で初めて黄金を産出し、大仏建立に使用され、令和元年には「みちのくGOLD浪漫—黄金の国ジパング、産金はじまりの地をたどる—」が文化庁から日本遺産に認定されました。

(参照 市町村概要みやぎ)



涌谷町長 遠藤 伸雄
(副管理者)

町章



美里町 ~ Misato Town

◆産業・経済

豊かな穀倉地帯で、国道・県道沿いに工場や大型店の立地が進んでいます。基幹産業である農業は、米や野菜だけでなく、果樹や施設園芸、畜産等も盛んです。



◆観光・文化

6月には活き生き田園フェスティバル、8月にはえきフェス MISATOが開催され、多くの人が賑わいます。藩政時代から安産の神様として知られる「山神社」や、縄文時代から中世に至る複合遺跡の「山前遺跡」等、歴史的な施設もあります。

◆伝統行事・伝統芸能

山神社のどんど祭、春・秋の例大祭、関根神楽、不動堂神社、和太鼓

◆郷土自慢

春から夏にかけて緑色に染まり、秋には黄金色の稲穂が波打つ、見渡す限りに広がるその田園風景は、美里町ならではの風情です。東北本線・陸羽東線・石巻線と、そこから分岐する気仙沼線の4線路が利用できる小牛田駅では、8月にえきフェス MISATOが開催されます。

(参照 市町村概要みやぎ)

町 章



世界農業遺産

「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」

大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町の1市4町で構成される大崎地域は、世界農業遺産に認定されています。

大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KOUUDO

GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS

江合川、鳴瀬川の流域に広がる水田農業地帯として発展してきた大崎地域は、東北の太平洋側特有の冷たく湿った季節風「やませ」による冷害や、山間部の急勾配地帯から平野部の緩勾配地帯に遷移する地形的要因による洪水、渴水が頻発する地域でもあり、厳しい自然環境の中、中世以降、取水堰や隧道・潜穴、水路、ため池などの水利施設を流域全体に築くとともに、相互扶助組織「契約講」を基盤とする水管管理体制を整えることで、様々な知恵や工夫、多くの苦労を重ねながら、「巧みな水管理」を柱とした水田農業が展開され、「大崎耕土」と称される豊饒の大地を形成してきました。

また、農業が育んできた豊かな農文化や水田や水路、水田の中に浮かぶ森のような屋敷林「居久根」のつながりが豊かな湿地生態系を育み、多様な動植物が存在する独特の農村景観を形成しています。

この農業や、農業が育む文化、生物多様性、美しく機能的な農村景観が一体となった農業システムが、未来に残すべき「生きた遺産」として平成29年12月12日、国連食糧農業機関（FAO）から世界農業遺産に認定されました。（国内9地域目、東北初認定）

世界農業遺産認定を契機に、大崎地域の基盤である資源豊かな農業を活かした地域の活性化と、一層誇りある地域づくりを目指しています。